

ワンコイン浸水センサ実証実験は、リアルタイムに浸水状況を把握し、防災行動に繋げる仕組みの構築に向け、様々な関係者が協力して浸水センサの有効性等を実証するもの。
 青森県内では、令和5年度に「鱒ヶ沢町」、令和6年度に「むつ市」、「南部町」が参加。

ワンコイン浸水センサ実証実験の概要

ポンプ設置のタイミングや通行可否の判断に浸水センサを活用

実証実験参加自治体：秋田県秋田市
 (令和6年7月9日 浸水状況)

実証実験参加自治体：埼玉県戸田市
 (令和6年7月31日降雨 浸水状況)

浸水発生時の迅速な判断・情報発信に役立つ
ワンコイン浸水センサ実証実験
 ～ 官民連携による流域の浸水状況把握 ～

POINT! 浸水情報をリアルタイムにホームページで公開しています。

国土交通省HP ワンコイン浸水センサ実証実験
<https://www.mlit.go.jp/river/gijutu/wankoinsensa/index.html>

官民連携で浸水状況をリアルタイムで把握する仕組みを作っています

国・自治体・企業・大学など、流域内のあらゆる関係者が参加して実証実験を実施中!

官民連携による浸水域把握 (活用のイメージ)

- 保険会社**: 保険加入者住宅への設置による、被害状況の把握、保険金支払いの円滑化
- 警備会社**: 警備対象施設における浸水被害の早期検知、対応の迅速化
- 店舗管理**: 店舗施設における浸水被害の早期検知、対応の迅速化
- 河川管理**: 河川における越水や被害の早期把握
- 施設管理**: 各種インフラ施設の浸水把握
- 自治体**: 地域の被害把握、災害対応の迅速化、避難情報発信

データ集約

ワンコイン浸水センサ
 小型、低コストかつ長寿命で、流域内に多数の設置が可能な浸水センサ
 ・小型
 ・低コスト
 ・長寿命

リアルタイムの浸水状況表示システム
 各センサの情報を一元的に収集し、浸水状況を共有するシステム

ワンコイン浸水センサ実証実験参加者の声

A自治体: 浸水センサを活用することで、浸水範囲や浸水深を早期に把握することが可能となるため、避難情報発令及び通行規制の判断や面的な被害状況の把握に繋がりたい。

B企業: 急な浸水や内水氾濫をいち早く把握することで管理施設の被害防止・軽減、早期復旧に活用したい。

お問い合わせ先
 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
 ワンコイン浸水センサ 担当
 E-Mail: hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp

令和7年度ワンコイン浸水センサ実証実験について

令和7年度のワンコイン浸水センサ実証実験新規参加募集について、12/24記者発表
 公募期間は、令和7年2月28日
 費用負担としては、基本的に国が「浸水センサ調達・通信関係費（1年目）・表示システム運用関係費用」、参加者が「センサ設置費・電気等管理の費用・通信関係費（2年目以降）」

国土交通省
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
 防災減災

令和6年12月24日
 水管理・国土保全局河川計画課

**あなたの地域の浸水を察知し迅速な行動へ
 ~ワンコイン浸水センサ実証実験の新規参加者を募集します~**

浸水の危険性がある地域に手頃な価格の小型センサを設置し、リアルタイムに浸水の有無を把握することが可能となりつつあります。
 このセンサの実証実験を、より有効に行うためには、様々な地域や場所で設置する必要があります。このため、引き続き実証を行うこととし、新たに参加する自治体や企業・団体等を募集します。

○実証実験の目的
 近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、浸水の状況を迅速に把握し、災害対応を行うことが重要となっております。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握し防災行動に繋げる仕組みの構築に向けて、国や自治体、民間企業等の様々な関係者が協力して、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。
 ※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。
<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

○公募内容
 (1) 対象者
 ①実証実験実施地区となる自治体（市区町村）
 ②浸水センサを自ら設置・管理できる企業・団体等（都道府県含む）
 ※詳細は、別途公募実施要領をご覧ください。

2) 公募期間
 ①、②共通：令和6年12月24日（火）
 ~令和7年2月28日（金）17時まで

(3) 公募説明会の開催について
 1) 開催日時：令和7年1月17日（金）14:00~
 2) 開催方法：WEB会議（Microsoft Teamsによるオンライン開催）
 3) 参加申込：別途公募実施要領 5.に従い、メールで申し込みください。
 （締切：令和7年1月15日（水）17:00まで）
 ※報道関係者等の傍聴も可能です。

【問合せ先】
 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
 企画専門官 成島（内線 35392）、係長 香川（内線 35394）
 代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

参加者の分類	参加目的の事例	参加の形式	費用負担
① 市区町村	・管内の浸水状況把握 ・浸水情報の自治体防災関係システムへの連携 など	①-1 国土省が用意するセンサを設置 （対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択する） ①-2 浸水センサを自ら設置せず、モデル地区の提供者となる	○センサの設置費 ○翌年度以降（令和8年4月~）のランニングコスト（センサ通信費・センサメーカーのクラウド運用経費） ○電気代など管理に係る費用 ※以下の費用は国負担※ ○センサ及び関係機器費 ○初年度のランニングコスト（センサ通信費・センサメーカーのクラウド運用経費） ○データ共有サーバ等の表示システム運用に関する経費
② 企業・団体等（都道府県含む）	・自社施設に対する浸水把握 ・自社開発センサの現地実証 ・浸水情報を活用した自治体向けシステム開発、保険商品開発など、企業による新たな商品開発 ・大学等による研究 ・都道府県管理河川周辺の浸水状況把握 など	②-1 国土省が用意するセンサを設置 （対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択する） ②-2 自社で用意するセンサを設置 ↑ どちらか又は両方でも可 ↓	同上 「データ共有サーバ等の表示システム運用に関する経費」以外は全て参加者負担
③ 国土交通省（河川関係事務所）	管内（直轄管理河川周辺）の浸水状況把握 など	国土省が用意するセンサを設置	-

※公募の対象は、①と②の参加者

むつ市長自ら「ワンコイン浸水センサ実証実験の取組」を紹介！

令和6年度ワンコイン浸水センサ実証実験にむつ市が新規参加。
 9月3日定例記者会見の場において、むつ市長自らワンコイン浸水センサ実証実験の取り組みを紹介。
 青森河川国道事務所も定例記者会見の場に参加させていただき、実証実験の取り組みを説明。

むつ市9月期定例記者会見（YouTube[むつ市長の62ちゃんねる]をスクリーンショット）



むつ市長あいさつ



むつ市によるワンコイン実証実験紹介



むつ市によるワンコイン実証実験紹介



青森河川国道事務所職員による説明



<https://youtube.com/live/SbDvYuxGRAI?si=4OGZYnGRDRCjrqcX>